

名古屋市瑞穂区井戸田町

瑞穂区史跡散策路という案内板が堀田小学校近くにあった。これを見ると、かなりの史跡を歩いたことになる。瑞穂区下坂町の鍼灸院に通う、楽しみのひとつだ。

今回は地下鉄「妙音通駅」から北に向け歩いた。井戸田の地である。なんだか古き時代を感じさせる道である。

まずは、龍泉寺の「亀井水」である。案内には、『府城の南一里三十町(約7キロ余)本井戸田なる村あり。井水す

べて清らかなり。名ある清水七ヶ所ばかりあれど、亀井という清水こそ、名高くうるはし』(尾張志)。龍泉寺山門脇にある亀井水はまた、源頼朝の産湯の水を汲んだ井戸とも伝えられている。第二次大戦後しばらくの同名の通り、「亀」が水面をおおうほどに無数に生息していたものである。」井戸田学区連絡協議会



くねくねと曲がる細い道、スリリングな路地をゆく。道の途中にこんな案内も。

「鎌倉街道 源頼朝による鎌倉幕府開府に伴って、文化の中心京都と鎌倉を結ぶ道路として開けた。海部郡萱津から中村区稲葉地、米野から瑞穂区大喜、高田村を経て井戸田村へ入り、ここから桜、古鳴海方面へぬけたと伝えられる。(徇行記)今から七百年前の瑞穂区は、随所入海となっており、干満の間に急いで渡らねばならず、満潮時には八事方面を迂回したという。」同上

瑞穂区誌に「井戸田学区」が次のように説明してあった。「井戸田小学校の西側一帯は、耕地整理の除外地であり、戦災にもあっていないため、自動車がやっと1台通れるほどの、細い曲がりくねった道路が続き、住宅が密集する地域となっている。そのため、震災対策用の街頭消火器が設置されている。学区内には多くの史跡があり、これらを巡回する一万歩コースが設けられ、各所にコース案内板が立てられている。井戸田町の長福寺の裏には、京都と鎌倉を結ぶ鎌倉街道跡と思われる道があり、龍泉寺の山脇には、源頼朝の産湯を汲んだ井戸と伝えられている亀井水という清水があった。……」

こんな昔ながらの閑静な住宅密集地にも、マンション建設が。またレポートしたい。

(2017年5月26日)